

研究室名	マルチモーダル環境認識研究室 学会発表		
【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生			
発表時期	2025年3月		
学会名	情報処理学会 第87回全国大会		
演題名	地震被害シミュレーションのための3D認識技術の研究		
発表者	○※徳田正安, <u>浜田宏一</u> , <u>小松佑人</u> , 福井弘久, 佐藤栄児		
内容	地震が頻発する日本のような地域では、家具の転倒が大きな安全リスクとなり、特に避難が困難な高齢者や子供に深刻な影響を及ぼしている。この研究では、先進のコンピュータビジョン技術と機械学習を組み合わせ、2D画像から3Dオブジェクトを再構築し、地震時の家具の動きを予測し転倒を防止することを目的としている。2D画像から生成された詳細な3Dモデルを用いて、地震の揺れに対する家具の反応をシミュレートし、家具の配置や固定方法を最適化するための指針を提供する。これにより、地震国における住宅や公共施設の安全性が向上し、特にリスクの高い人々の安全を保護することが期待される。		